



放課後児童クラブ落成式

共働きなどで、保護者が昼間にいない家庭を支援する放課後児童クラブの新築に伴い、2月27日、市内の3つの小学校で落成式が行われました。新しくなったのは、昨年新築



▶新樹・せんだんクラブ
(神埼小学校)



▶若菜クラブ
(西郷小学校)



▶山王クラブ
(仁比山小学校)

された2校に続き、西郷小学校の若菜クラブ、仁比山小学校の山王クラブ、神埼小学校の新樹・せんだんクラブです。

木の香りのする明るい建物は、佐賀県森林整備加速化・林業再生事業補助金を利用、木材全体の約60%に県産材が使われています。

このうち、神埼小の新樹・せんだんクラブ落成式では松本市長が「気持ちのいい場所で、自分の時間を過ごせるのはありがたい事。どう使っていくかが大切」とあいさつ。

児童を代表し、2年生の女子児童2人が、「木の香りのする部屋や、丸い玄関が気に入っています。大切に使います」とお礼の言葉を述べました。

それぞれの旅立ち

中学校、291人が卒業

市内3中学校で3月9日、卒業式が行われ、3校合わせて291人が、新生活へ旅立ちました。



千代田中学校では、108人が卒業を迎えました。一人ひとりに卒業証書が手渡された後、卒業生代表が「学年目標のABCを頑張ってきた。Adventure前向きに取り組むBreak殻を破り高い壁を越えるCome true自己実現。その向こうにあるのはDream。千代田中学校で学んだことをいかし、立派な人間になるため努力を惜しまず、一歩ずつ前に進んでいきます」と決意

を述べました。

式終了後、卒業生全員で「道」の旅立ちの日に」の2曲を合唱。間奏中に恩師と両親に感謝の言葉を伝え、決意を新たに旅立ちました。

小学校319人が卒業

3月16日に、市内7小学校で卒業式が行われ、7校合わせて319人が卒業しました。

神埼小学校では、113人が卒業。田代高規校長が式辞で、エジソンの発明やサッカーのなでしこジャパン世界一を例に「どんな困難にもあきらめないことが大切」と卒業生を激励。6年間の思い出を振り返り、式を終えた卒業生たちは、先生や在校生に見送られ、学舎を後にしました。



神埼の観光地をPR

神埼市のイメージアップと観光PRのため、市のマスコットキャラクター「くねんワン」「くねんニャン」と、市内の観光地を写真で紹介したマグネットを作成しました。

市の大型バスと中型バスの車体に取り付けて、県内だけでなく県外に向けても大きなPR効果が期待できそうです。



寒風ついてか走

2月17日から19日までの3日間、第52回郡市対抗県内一周駅伝大会（佐賀新聞社・佐



賀陸上競技協会主催）が行われました。

大会は、3日間かけて県内を一周し、ゴールの佐賀新聞社前までの全33区間（269.9km）で行われました。当日は雪の降る中で行われたにも関わらず、大会のために厳しい練習に取り組んできた選手たちは歯を食いしばり力走しました。また、沿道には大勢の応援の方が集まり、選手たちに声援を送っていました。

神崎・吉野ヶ里チームは総合7位の成績となり、前回大会の8位から順位を一つ上げ取賞賞を獲得し、チームのエースである平敏治選手（神崎町）が7年連続で優秀選手に選ばれました。

新しいスポーツチャレンジ



2月26日、神崎市レクリエーション大会および神崎市少年スポーツクラブ交流大会（神崎市体育協会主催）が神崎中央公園体育館で行われ、市内の子どもから大人まで約100人が参加しました。

今回は、フライングディスクを使って専用のゴールを狙う「ディスクキャッチャー」など、年齢や体力に関係なく、簡単なルールで楽しめる10種類のニュースポーツが会場内に勢ぞろいしました。

初めて体験するスポーツも多い中、参加者は楽しく体を動かし、大会は大いに盛り上がりました。

市内企業間の更なる活動促進に向けて

神崎市内の誘致企業や地場企業などで構成する「神崎市企業連絡協議会（藤解真司会長）九州積水工業（株）代表取締役社長、42社7団体」の定例会が、2月21日、ホテル神崎温泉（神崎町）で開催されました。

会合に先立ち、藤解会長が「協議会に入っていて良かったと思ってもらえるように、加入企業間の交流拡大や人材育成への支援など、まずは出来ることか

ホームで快勝 市民応援DAY

神崎市に本拠地を置くハンドボール実業団チーム「トヨタ紡織九州レッドトルネード」を応援する



市民応援DAYが3月3日、神崎中央公園体育館で行われました。

このイベントは、ハンドボールを通して地域支援などの活動を続けているトヨタ紡織九州レッドトルネードを盛り上げるため、神崎市民であれば入場券が半額になるもので、今年で4回目の開催です。

当日の対戦相手は、国体決勝と同じ広島県の湧永製薬レオリック。序盤から一進一退の激しい攻防が続きましたが、後半に入ると、トヨタ紡織が持ち味の機動力を活かしたプレーで徐々に点差を広げ、33対27でホーム戦を飾りました。この試合中で、中島嘉之選手が通算400ゴールを決め、会場から大き



ら取り組んでいきたい」と挨拶。続く定例会では新たに入会した（株）三神並びにエフピコ愛パックス（株）、市内金融機関四行の企業紹介のほか、次年度以降の活動方針などについて報告がありました。

また当日は、新商品開発や売上改善など経営者が抱える課題解決に向けた取り組みに携わり、多くの成果を挙げる富士市産業支援センターの小出宗昭センター長を招いての講演会も催され、出席者との間で積極的な情報交換が行われました。

な拍手が送られました。



また、ホームで、応援DAYを盛り上げるため、神崎市のゆるキャラ「くねんワン・ニャン」が登場。子どもたちにハンドボールに親しんでもらおうとキーパー役となり、シュートを受けていました。なお、3月4日にリーグ最終戦も同会場で行われ、大同特殊鋼に1点差で勝利しましたが、リーグ5位で今シーズンを終了。プレーオフ進出は果たせませんでした。村上行選手が得点王とフィールド得点賞の2冠を達成しました。